



平成30年10月1日
市議会議員 坂澤博光

平成30年第3回各務原市議会定例会で審議された内容や一般質問について報告します。

1 平成29年度一般会計決算

収入済額約512億円、支出済額約487億5000万円になり、この費用は次のような事業に使用されました。

岐阜かかみがはら航空宇宙博物館がリニューアルオープンし、子ども達の夢を育むとともに航空宇宙産業の活気を県内外に強く発信しました。

イオンモール各務原に移住定住総合窓口を開設し、各務原市の魅力を発信するとともに住まいや仕事の情報を提供するなど、シティプロモーションを積極的に推進し16世帯の方が本市に移住しました。

平成29年度に、基幹相談支援センター（身体、知的、精神障がいの方に対応）、教育センター（相談、研修部門）、母子健康包括支援センターを設置し、様々な課題に対応できる相談支援体制を整えました。

2 条例改正などに伴う参考情報

平成19年度に使用料を改訂して以来そのままだった下水道使用料を、今後も安定的、継続的に下水道事業を継続していけるようにするため、使用料の改訂をしました。

基本水量を廃止し、基本使用料を低く抑え利用される方に均等に負担してもらい、また、今まで一般会計から補てんしていた使用料（150㎡までの分）を、各世帯の下水の使用量に応じて負担してもらうことになり、平成31年4月から平均14.8%、平成34年4月から平均14.5%の値上げになります。

3 スパークの一般質問

（1）自分の身は自分で守る安全意識の醸成について

問：小中学校ではどのような安全教育がなされているか。

答：管理と教育の両面より、生活、災害、交通の3領域についての安全教育をしています。

管理面として、危機管理体制の確立、安全点検による危険個所の把握と修繕、危険な道具の管理保管、通学路点検があります。

教育面として、安全行動や交通安全意識を育むための交通安全教室や登下校指導、危険回避能力を育むための命を守る訓練があります。

問：安全管理の徹底と安全意識の醸成のバランスをどのように考えるか。

答：教職員による毎月の安全点検などを確実に実施するとともに、様々な状況のなかで児童生徒が自分の判断で行動する場を設定し、自ら命を守る力を育てています。

問：自分の身は自分で守る安全意識の醸成が必要ではないか。

答：保護者や交通安全協会と連携して交通安全教室を開催したり、地域の強力を得て災害
図上訓練をしたり A E D の取り扱いを学んだりしています。

(2) 防災推進員の位置づけについて

問：防災人づくり講座修了者数と今後の養成計画は。

答：平成 23 年の開始から 82 名の方が防災推進員として活動しており、今後、各小学校
区に 5～6 名の約 100 名の養成を考えています。

問：防災推進員の地域での活動事例は。

答：年に数回程度「防災だより」を発行し自治会内に回覧、小学校体育館の避難所レイア
ウトを作り自主防災訓練で使用、防災推進員制作の「防災のてびき」を自治会に配布、
自治会の行事に合わせ炊き出しなどの防災訓練の実施などがあります。

問：防災推進員が活動しやすい位置づけを示してはどうか。

答：地域の防災リーダーとして活動しやすいように、各自治会連合会長へ防災推進員の名
簿を渡したり、出前講座において防災推進員の役割や活動内容を紹介しています。
来年度から、「自治会長の手引き」に「防災推進ネットワーク」のことを掲載し、防災
推進員の存在を知らせていく予定です。

(3) I C T 化の進め方や人工知能の活用について

問：行政事務や行政サービスはどのように I C T 化しているか。

答：公共施設予約システム、G I S システム（地図情報の提供）の導入などを実施し、現
在、証明書のコンビニ交付の実施に向け着手しています。

問：今後、I C T 化をどのように進めていくのか。

答：多くの申請が必要な行政手続きについて、「待たずに」「簡単で」「便利な」行政サー
ビスの実現、データ入力など、一定の条件でできる定型作業の自動化、センサー技術を駆
使した公共インフラの点検・補修分野における事務作業の短縮と職員の負担軽減など、
I C T を活用していきます。

問：今後、人工知能をどのように活用していくのか。

答：端末を利用した自動翻訳システムや相談・問い合わせ情報・現場調査画像など、ビッ
グデータを利用して人工知能をいかに活用していくかなど、国や県、先進自治体の状況
を注視しつつ、積極的に調査、研究に取り組んでいきます。

第 23 回市政報告会

とき：平成 30 年 10 月 27 日（土）13 時 30 分から 1 時間半

ところ：雄飛ヶ丘公民館（那加雄飛ヶ丘町 12-15）

連絡先：各務原市那加昭南町 97-1-201 坂澤博光

電話&FAX：058-371-1270 携帯電話：090-7026-9861

E メール：hir_skzw@d1.dion.ne.jp